



エネルギー

福岡県では、地球に優しく、安定してエネルギーが使える環境づくりに取り組んでいます。わたしたちの身近なエネルギーについて学んでみましょう。

エネルギーってなんだろう？

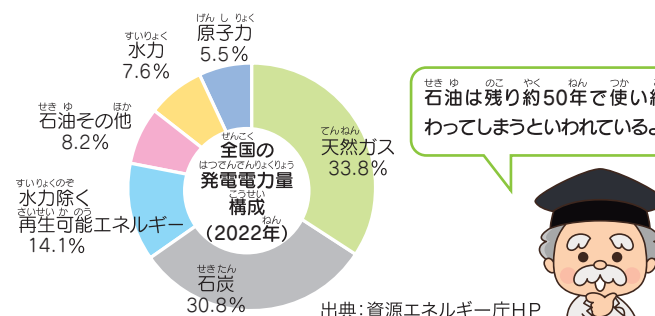
明かりをつけたり、お湯を沸かしたり、車を動かしたりする力のことを「エネルギー」というよ。「仕事をする力」ともいうんだ。

エネルギーはどうやってつくるの？

わたしたちにとって一番身近なエネルギーは電気だね。電気の多くは天然ガスや石油、石炭を燃やしてつくるんだ。天然ガスや石油、石炭には限りがあるから、大事に使わないといけないね。

これからのエネルギーを見てみよう

身近なエネルギー



石油は残り約50年で使い終わってしまうといわれているよ。



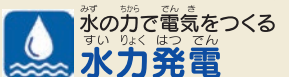
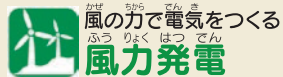
出典：資源エネルギー庁HP
公開資料(県で一部加工)

自然からつくるエネルギー 「再生可能エネルギー」

太陽や風、川を流れる水の力などでつくられるエネルギーのことだよ。

電気をつくる時に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど出さないし、資源が無くなることを心配しなくていいんだよ。

県内の再生可能エネルギー発電設備導入容量は全国9位で、福岡県はとてもすすんでいるんだ。



エネルギーを無駄なくかしく利用 「コージェネレーションシステム」

コージェネレーションシステムとは、電気と熱を同時につくるシステムのことだよ。

電気をつくり、その時に出る熱で部屋を暖めたり、お湯を沸かしたりすることができて、とても環境に優しいんだ。

